

受講者募集中！

2/28(木)まで

【実務系】教員免許状更新講習 3月開催！

講習名：【選択領域】アクティブな学びを引き出すファシリテーション研修

認定番号：平 30-80033-508925 号



【日程】 2019年3月27日(水)～3月29日(金) ※連続3日間

【会場】 学習院大学 北1号館3階 308・303・304 教室 (東京都豊島区)

【開設者】 公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)

【区分】 選択領域 18時間 ※全18時間分の一括講習となり、部分受講はお受けしていません。

【対象】 小・中・高等学校教諭 (教員優先ですが、教員以外の方の受講も受け入れ可能です)

【定員】 70名

【受講料】 18,000円

【締切】 2019年2月28日(木)まで延長！

※8/20(火)～8/22(木)にも実施が決定しました(文部科学省申請中)！ こちらの受付は3/16以降です。

講習内容

新学習指導要領において重視される「主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング)」を実現する対話型授業の手法を、体験と理論講義によって学びます。

環境教育の領域で蓄積されてきたワークショップの手法(「KP法(紙芝居プレゼンテーション法)」や「えんたくんミーティング」等)、体験を学びにつなげるファシリテーションを自ら受け、その背景理論を学ぶことで、児童・生徒が主体的に参加できる授業設計と、学びを深めるための働きかけのスキルを身に付けることを目指します。



担当講師

川嶋 直 公益社団法人日本環境教育フォーラム理事長

専門分野：(参加型・自然体験型)環境教育、人材育成、インタープリテーション、野外教育、環境コミュニケーション、KP法の普及。専門分野における研修を主催事業はじめ、文部科学省、環境省、林野庁、企業、JICA等で実施。「えんたくん」考案者。



諏訪 哲郎 学習院大学文学部教授

専門分野：環境教育、東アジア比較教育。学習院大学文学部教育学科主任(2013年4月-2017年3月)や日本環境教育学会会長(2015年4月-)として、長く学校教育の在り方や、目指すべき方向性について提言を行う。



中野民夫 国立大学法人東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

専門分野：コミュニケーション論、ワークショップ、ファシリテーション、参加型の場づくり、マインドフルネス、エコロジーとスピリチュアリティ。株式会社博報堂(1982-2012)勤務の傍ら、ワークショップ企画プロデューサー(2001-)として講座を実践。



栗原 清 学習院大学兼任講師・学習院初等科教諭

専門分野：社会科教育、生活科教育。教育委員会主催の研修会講師も行う。著書：「小学校社会検定教科書」(共著)、「アクティブ・ラーニングと環境教育」(共著)ほか。



プログラム (予定)

※プログラムは受講者のニーズに合わせて一部変更する場合があります。

3日間を通して実習と講義をくり返すことで、学び(Learn)、学び合い(Co-learn)、学びほぐし(Unlearn)という3種類の学びのプロセスを体験します。ご自身がアクティブ・ラーナーになる感覚を味わうことで、手法にとらわれ過ぎずに児童・生徒の主体性を引き出すポイントを掴んでいきます。

1日目 3/27(水) 10:00~17:45

講義 1	「社会に開かれた教育課程とは？」 新学習指導要領から見てくる“いま求められる力”や、今後の地域と学校の関係 を解説します。	栗原
実習 1	「対話によって深い学びを生み出すアプローチ」 ワールドカフェ方式の対話セッション「えんたくんミーティング」を用い、受講 者どうして講義の内容を深めていきます。	A 班:川嶋 B 班:栗原
実習 2 (入替制)	A「教えるより学び合う場をつくらう」(中野) 教員生活の中で得てきた授業体験をふりかえり、子どもたちが主体的に学び合 える場づくりについて検討します。 B「アクティブな授業を実現する KP 法」(川嶋) 言いたいことをシンプルに伝える「KP 法」のやり方を学び、実際に授業や会議に おいて活用できるようにします。	A 班:中野 B 班:川嶋

2日目 3/28(木) 9:30~17:30

実習 2 (入替制)	A「アクティブな授業を実現する KP 法」(川嶋) 言いたいことをシンプルに伝える「KP 法」のやり方を学び、実際に授業や会議に おいて活用できるようにします。 B「教えるより学び合う場をつくらう」(中野) 教員生活の中で得てきた授業体験をふりかえり、子どもたちが主体的に学び合 える場づくりについて検討します。	A 班:川嶋 B 班:中野
講義 2	「アクティブ・ラーニング (AL) とは何か？」 「主体的・対話的で深い学び」とされるアクティブ・ラーニングの本質を解説し、 学び合える場づくりについて検討します。	諏訪
実習 3	「持続可能な社会をつくるための教育」 持続可能社会型教育システム(学校教育 3.0)について、ABD(アクティブ・ブ ック・ダイアログ)を用いた「深い学び」を体感します。	A 班:川嶋 B 班:諏訪

3日目 3/29(金) 9:30~16:00

実習 4	「聞き手が前のめりになる導入をつくる」 「この講習の1日目・2日目で学んだこと、考えたこと、気づいたことを学校(ま たはご自身の現場)で同僚の先生方に伝える KP」の作成と発表練習をします。	A 班:諏訪 ・栗原 B 班:川嶋
まとめ	「3日間のふりかえりと質疑応答」 3日間の学びをふりかえる対話セッションと、講師への Q&A タイムです。	川嶋・諏訪・ 栗原
試験	筆記試験 (60分) 各講師から1題ずつの記述問題に解答してください。	川嶋

■詳細・お申込みは、(公社)日本環境教育フォーラムのホームページ

<http://www.jeef.or.jp/activities/kyouinmenkyo/> をご覧ください。

■お問い合わせは、担当：金久保(かなくぼ)・吹留(ひいどめ)までどうぞ。

TEL : 03-5834-2897 MAIL : kyouinmenkyo@jeef.or.jp (平日 9:30~17:30)

